

## 共鳴

公園の植物は季節感がなくなってきたように思われる。寒い地方に育つドイツトウヒは枯れ、暖かい地方に育つアメリカディゴは元気よく育っている。毎年彼岸の時期に咲く、彼岸花は今年は一か月早く満開を迎えた。公園のそばの畑ではバナナが成っている。雨はスコールのような降り方で気温も九月半ばというのに30度超えの毎日である。その為か、早朝散歩の人が多く、今はダリアが咲きだし、酔芙蓉が開き始めている。コキアは紅葉にはまだ早い順調に育っている。

花は最盛期には大勢の人が観賞に来られる。終りに近づくにつれ、人数は減少していく。当たり前のことだが、視線を変えて見ると、花の衰れさも見ると人によっては様々な感情を呼び起こし、共鳴をする場合もありうるのではないかと思います。

昔、薔薇園で、雨のはねあがって土汚れた葉の写真を撮っておられた方がおりました。まさに幽玄の世界です。人それぞれ共鳴し、追及されているのだなと感じたことがありました。花も人も栄枯盛衰があり、その中身は奥く深いものがあるものです。

。

